

## 第39回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 議事概要

- とき：令和3年2月26日（金曜日）19時45分から20時50分まで
- ところ：大阪府本館第1委員会室
- 出席者：吉村知事・田中副知事・山野副知事・山口副知事・危機管理監・政策企画部長・報道監・総務部長・財務部長・福祉部長・健康医療部長・ワクチン接種推進監・商工労働部長・教育長・府警本部警備部長・大阪健康安全基盤研究所公衆衛生部長・大阪市健康局首席医務監

### 【会議資料】

#### 会議次第

- 資料1-1 現在の感染状況について
- 資料1-2 現在の療養状況について
- 資料1-3 緊急事態措置にかかる取組状況
- 資料1-4 滞在人口の推移
- 資料2-1 イエローステージ（警戒）の対応方針に基づく要請
- 資料2-2 （参考）レッドステージ（非常事態）/イエローステージ（警戒）の対応方針に基づく要請新旧対照表
- 資料2-3 発生状況及び要請内容に関する専門家の意見
- 資料2-4 国の分科会提言を踏まえた今後の取組みの方向性
- 資料2-5 （参考）今後の取組みに関する専門家の意見
- 資料3-1 商店街におけるCO2センサーのデモンストレーション結果

### 【知事】

- ・本日、大阪府が緊急事態宣言の対象から除外されるという決定が国においてなされました。
- ・この間、感染が急拡大する中、緊急事態宣言の発令を（国に）お願いし、その緊急事態宣言の期間中、本当に多くの府民の皆さん、事業者の皆さんに厳しいお願いをしましたが、本当に皆さんのご協力で、感染の急拡大は何とか抑えてこられたと思っています。
- ・これも府民の皆さん、事業者の皆さんにご協力していただいたからこそできたことであって、まず皆さんに感謝申し上げたいと思います。
- ・大切なことは、やはりここからリバウンドをさせないこと、徐々に解除して、社会経済活動と感染対策を両立させていくという非常に難しい舵取りですけども、そこをやはり模索していくべきだと思っています。
- ・本日は、現在のこれまでの感染状況、そして療養状況の分析をするとともに、緊急事態宣言は解除されましたが、今まで大阪府全域でしたが大阪市都心部の時短要請については、1時間ずらす形で是非お願いしたいと思います。
- ・また、感染のリスクという意味では、卒業式、入学式、歓送迎会、謝恩会などのシーズンに入ってきます。そこに対して、一定感染リスクを抑えながら、社会もいろんな仕事で成り立っているという

ころもありますので、その両立を何とか図っていきたいと思いますので、その方向性を本日決めたいと思います。よろしく申し上げます。

※資料1-1に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-2に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料1-3に基づいて、危機管理監より説明。

※資料1-4に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-1に基づいて、危機管理監より説明。

※資料2-3に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料2-4に基づいて、健康医療部長より説明。

※資料2-5に基づいて、健康医療部長より説明。

#### 【田中副知事】

- ・時短要請のエリアと時間の問題なのですが、エリアに関しては先ほどデータがありましたし、専門家の方からも大阪市内の方がまだ少し多い（ので妥当）ということですので、市域内に要請することはよくわかるのですが、時短については、専門家の中にも21時の延長がどれほど効果的か不明とおっしゃっている方もいらっしゃいます。ただ、記憶では、22時の場合と20時の場合では（感染対策の効果が）違うという説明を以前聞いたことがある気がするのですが、いかがでしょうか。

#### 【健康医療部長】

- ・資料1-1の4ページをお開きください。
- ・12月中旬以降に陽性者数が減少したのは大阪だけです。これは、11月27日から大阪市内へ21時までの時短要請をした効果があったからだと考えております。
- ・一方、例えば22時までの時短を実施した府県では、12月に感染者の減少の成果が出ていません。
- ・大阪においては、大阪市内の21時までの時短のお願いで、感染抑制の効果が出たというのは経験として得ているところです。

#### 【山野副知事】

- ・朝野先生の意見にも少し出てきていますが、国の分科会での議論等を見ますと、リバウンドをさせないために、できるだけ早期の検知を行うということがかなり強く言われています。厚生労働省のアドバイザリーボードでも、そういうことが言われています。
- ・できるだけ早期に検知するという点について、政府も相当踏み込んだ取組みをしようかと、舵を切っているということだと思います。
- ・朝野先生がこうおっしゃっている定点検査の件ですが、資料2-4に記載のあるモニタリング検査で、我々としては前向きな対応をしているのですが、そういったもので対応できているという理解でいいですか。

**【健康医療部長】**

- ・国から早期探知のためのモニタリング検査を実施すべきとご提言があるということで、調整を行っているところです。
- ・来週からスタートすべく準備しておりますのは、市内の複数箇所の定点の拠点を設けまして、その前を行き交う方をアトランダムに捉まえるという方法で、目標といたしましてはまず 100 名程度からスタートしたいと思っています。
- ・最終的に団体の協力を得るなどして、目標としている 1 日 1,000 人に到達できるように努力してまいりたいと思っています。

**【山野副知事】**

- ・特に重症者ということでいうと、高齢者施設での早期の検知については 2 月 22 日から始めていますが、周知も含めて重点的にしっかりとやってもらいたいと思います。

**【健康医療部長】**

- ・非常に多くの申し込みが、ここ数日ですでに来ておりますので、しっかりこれも対応してまいります。

**【知事】**

- ・定点検査に関してですが、新たなリバウンドを起こさせない、新たな大きな波を起こさせないために、できるだけ早く感知しようということは、これまで重要なテーマとして取り組んできたところでもあります。
- ・その中で、感染経路不明者の前週の増加比や、あるいは先日新たに作った 20 代 30 代の 7 日間平均の前日増加比という見張り番指標、あとは陽性率などを掛け合わせながら判断していかざるを得ないと思っています。
- ・その中の一つとして、例えば繁華街での無差別検査について、国と協力してぜひやっていきたいと思えます。具体的にそれは誰がどんな形でやることになるのでしょうか。陽性であればその方に連絡するのですか？

**【健康医療部長】**

- ・今、国と詳細について調整中ですが、アトランダムにご協力をお願いして、検体の容器をお渡しして、その容器を検査会社に郵送していただくということを念頭に置いています。
- ・症状がありませんので行政検査ではありません。アプリをダウンロードしていただいたご本人だけに通知が行きます。通知があったご本人は改めて保健所等にご連絡いただいて、陽性を確定するというフローを念頭に置いています。

**【知事】**

- ・やり方はよく考えなければならないと思います。例えば、無料検査場ができた、となってはならないと思いますので、場所を固定すると、症状がある人がそこに無料で検査しに行くこともあるかもしれませ

ん。

- ・ そうなれば当然検査しなければなりません、本来の趣旨は行き交う人が陽性なのかどうなのか、波をキャッチしようということです。
- ・ 誰がやるのでしょうか。場所は特定せずに、キタやミナミなどの繁華街を移動するのでしょうか。それとも、大学に協力していただいて、一斉に検査するのでしょうか。

**【健康医療部長】**

- ・ 非常に手間暇がかかる検査ですので、組み合わせようと思っています。
- ・ スポット型で行き交うランダムな方にご協力いただく件ですが、知事をご心配の点は、スポットを公表しないということで（解決したいと思います。）。（スポットを公表すると）とりあえず検査を受けたいというバイアスのかかった方が集中しますので、（公表しないことでこういった方を）避けることになるのではないかと考えています。
- ・ ただ、それだけで1日1,000名は確保できませんので、企業や大学にいらっしゃる方を定期的に検査していただくということについて、ご協力をしていただける企業や大学と調整中です。

**【知事】**

- ・ 場所は非公表ですが、一定程度バイアスがかかった人が来ても仕方がないとして、検査をするということですか。

**【健康医療部長】**

- ・ そうですね。とりわけ、資料2-4に市中でのモニタリングと書いてありますが、どちらかというとも感染が発生しやすい、あるいは潜伏しやすい大阪市内を念頭に置いて、複数箇所と考えております。

**【知事】**

- ・ 1日100件で始めて、1日1,000件というのが最終目標だと思うのですが、100件から1,000件になるまでの期間は、どのくらいと想定していますか。

**【健康医療部長】**

- ・ ここ数日で検討をしておりますので、できるだけ早くその規模に到達するように検討いたします。

**【知事】**

- ・ それは検査件数に含まれるのですか。行政検査ではないということですか。

**【健康医療部長】**

- ・ このモニタリング検査については行政検査とはなりません。陽性が判明しても、発生届の届け出義務が発生しない陽性者になります。
- ・ （資料2-4に記載されている）高齢者施設の集中検査につきましては、行政検査と位置づけられておりますので、ここで陽性になった方は感染者として届け出がされます。

**【知事】**

- ・その人が陽性だった場合、我々が把握して日々公表している数字には入ってこなくて、その人が病院に行って、改めて検査したときに初めてカウントされるということですか。

**【健康医療部長】**

- ・はい。今、国とやりとりしている中ではそういう位置づけの検査になります。
- ・ですから、何人陽性者が出ているかというデータのみ、大阪府としては得るということになります。

**【知事】**

- ・ちなみに、高齢者のクラスターを防止するために、無症状の（高齢者施設等の）職員も検査することは大阪府で先行してやっていると思うのですが、大阪府でも 2 月末からやるということですが、大阪府ではだいたい何件ぐらい検査して何人ぐらい陽性者が出ているのですか。

**【大阪市健康局首席医務監】**

- ・直近は把握しておりませんが、1 週間ほど前でしたら 8,000 件ぐらい検査して陽性者は出ておりません。

**【知事】**

- ・高齢者施設のスマホ検査センターは 30 人ぐらい陽性者が出たと思うのですが、あれは検査数はどれくらいでしょうか。

**【福祉部長】**

- ・スマホ検査センターですが、1 月 21 日から始めまして、ウェブの受付は 2,077 件、検査に回ったのが 1,678 件ですが、陽性は 34 名ということになっています。

**【知事】**

- ・1,600 件で陽性が 30 名ですね。スマホ検査センターは保健所・病院に相談せず、スマホだけで検査ができますので、かなりハードルを下げた検査で、その数です。
- ・一方で、完全に無症状の人に検査をすると、8,000 件回しても陽性者は 0 ということなので、この集団検査がどこまで意味があるのか、まだ見えないところがありますが、いずれにしても 3 月末までは集団検査を 2 回ぐらい回して、クラスター対策になるのかどうか、やらないとわからないと思うのですが、まず、この 1 ヶ月は進めていきたいと思います。
- ・広島県でも無差別に集中検査をするということでしたが、陽性率はわかりますか。希望制で募集してやると聞いて、僕も注目はしていたのですが。
- ・要は、大規模な無差別検査をやるのが感染を抑えるという論調も一部ある中で、大阪での話を聞いても 8,000 件検査して、0 人だということも併せて考えると、無差別検査がどのぐらい意味があるのかと思いますし、先行している広島県はどうなのでしょう。

#### 【山野副知事】

- ・私も詳しくはないですが、区を絞って、状況を見ながら実施するという事ではないかと思えます。
- ・どの程度やったのかということはフォローする必要があると思えます。

#### 【知事】

- ・新たな波をキャッチするために、繁華街を通る人の無差別検査は大変だと思いますが、国と協力して新たな指標になり得るかもしれませんので進めてもらいたいと思えます。
- ・それから 21 時までの時短要請のお願いですが、田中副知事からもあった通り、12 月の右肩上がりのところを少し下げたということは、効果は非常に大きかったのだらうと思えます。
- ・(資料 1-1 の 4 ページを見ると、12 月 11 日から 17 日までの陽性者数の) 発射台は東京と大阪はあまり変わらないところから始まっていますが、同じようにもし増えていたら、(東京と) 同じような陽性者数が出た可能性も十分ありますし、人口規模が比較的近い神奈川は発射台が(大阪より) 低いところから始まっていますが、(大阪より) 増えていっています。
- ・赤信号を点けたというのもあるのかもしれませんが、21 時の(時短の) お願いをしたということは非常に大きいと思えますので、事業者の皆さんは 22 時とか色々な声があるのもわかっていますが、リバウンド防止という意味では緊急事態宣言解除間もないということで、ご理解をお願いして進めたいと思えます。
- ・これまで赤色でお願いした通天閣や太陽の塔のライトアップについて、3 月 1 日に医療非常事態宣言も解除しますから、3 月 1 日の 20 時に赤色から黄色の警戒信号に切り替えるということでもいいですか。

#### 【健康医療部長】

- ・今、通天閣や太陽の塔とご相談していますが、通天閣が 3 月 1 日の日没時に黄色を点灯していただくということ、太陽の塔も同様の対応です。
- ・府のホームページは、3 月 1 日月曜日の 0 時に黄色に変更をさせていただきます。

#### 【山口副知事】

- ・21 時まで、時短要請を 1 時間延ばすということは、今の議論でも効果があったということなのですが、大阪市内のキタやミナミは 11 月 27 日からずっと協力いただいているという状態で、緊急事態宣言が解除されて、段階的解除と言えども、ある程度緩和されるのではないかと期待があったと思うのですが、21 時まで、お酒の提供は 20 時半までということ、さらに 3 週間お願いをしたいというところの考え方についての説明をしていただけますか。

#### 【危機管理監】

- ・まず時短要請の範囲を大阪府全域から大阪市内全域、大阪市内の一部に絞るという考え方も当然あるわけですが、やはり一気に緩和するとリバウンドが懸念されるということで、段階的ということから市内全域にさせていただいたということです。
- ・それから、時短要請の時間につきましても、山口副知事からありましたけれども、事業者の方から私の方

に 22 時まででお願いしたいとの声も聞いておりましたけども、これもやはりリバウンドを防止するため、徐々に緩和をしていくということで 21 時でお願いをすることになると思います、とご説明をさせていただいております。

- ・ 11 月 27 日から 3 ヶ月を超える期間をお願いするという事なので、担当者としてもできるだけ早く解除したいという気持ちはあるんですけども、解除という言葉がどれだけ府民の行動に影響するのかということを慎重に見ていく必要がありますので、大幅に緩和するのではなくて、ステップを踏んで緩和していった上で、これまで 2 週間単位で見えていたんですけども、下がるスピードが落ちてきて横ばい傾向になってきていますので、慎重に見ていく必要があるということで 3 週間とさせていただいたということでございます。

#### 【山口副知事】

- ・ 下がる速度も鈍化をしているし、さらに去年もそうでしたけど、春は人が移動する時期ということを考えて、慎重な対応が必要だと思うのですけれども、しっかり協力をいただく対応として相談センターもできますけれども、丁寧にやっていく必要があると思うのでその点よろしくお願ひしたいと思ひます。

※資料 3 - 1 に基づいて、商工労働部長より説明。

#### 【知事】

- ・ 緊急事態宣言が解除になって、これから社会経済を動かしながら、感染症により強い社会を実現することが非常に重要になってくると思います。
- ・ その中で、クラスターの発生事例を見ても飛沫感染が原因となっており、いかに飛沫を防いでいくのかということと、密閉空間でエアロゾルをどのように防いでいくのか。ここに尽きるのかなというぐらい、非常に重要なポイントと思っています。
- ・ どうしても家庭や高齢者施設でクラスターになりやすいのですけれど、最初の発火点という意味では飲食の場面が非常に重要になってくると思います。
- ・ そういった意味では、CO<sub>2</sub>センサーを活用するモデル事業を昨年 12 月末に商店街で実施したわけですけど、店舗側からしても 9 割が適切な換気の実施に繋がったとされています。
- ・ 空間が密になっているかどうか、滞留しているかどうか、換気が十分かどうかというのは、なかなか目ではわからないわけですけど、数字にすると非常にわかりやすいと思います。
- ・ 現に実際やってくれた 40 店舗では約 9 割がそれで換気に繋がったと言っています。
- ・ また、店舗の営業としても、適切な換気をして安心な店を作っているというお客さんに対する PR にもなるということで、非常に良い結果だと思っています。
- ・ 昨日、尾身会長の会見を見ていたのですが、1,000ppm を一つの目安にしてもらいたいとの発言がありました。そして、CO<sub>2</sub>センサーがあれば使ってもらいたいということがあり、まさに、去年の大阪府で実施したことと合致していますし、今回の結果もありますので、是非広げていきたいと思ひます。
- ・ 記者から、なぜ 1,000ppm なのか、そのエビデンスについて色々質問されていましたが、明確なエビ

デンスはないのだけれども 1,000ppm を一つの基準にしてほしいということは、尾身会長もおっしゃっていましたので、ここは是非広げていきたいと思います。

- ・大阪市外の飲食店は時短要請をしないのですが、CO<sub>2</sub>センサーを設置してもらうように、そして適切な換気をしてもらうきっかけ、安心な店づくりをしているという PR、そういった意味でも是非活用について任意の協力になりますけどお願いをしていきたいと思います。
- ・ネットを見たら 1 台数千円ぐらいかなと見ているのですけれども、値段はどれくらいですか。

#### 【商工労働部長】

- ・今回、商店街のデモンストレーションで配らせていただいたものが、だいたい 9,000 円です。
- ・色々と性能を付加すれば値段も上下したりするのですが、基本的に 1 万円前後で購入できると考えていただいてよいかと思います。

#### 【知事】

- ・ネットで見ただけのものでも数千円単位のもがたくさんあったので、ppm を測れるだけのものであれば、数千円単位で購入できます。
- ・実際、デモンストレーションで使っているのも 9,000 円のもので、あればずっと使えますし、そこはお願いをしていこうと思います。
- ・これについては補助制度とすると別途費用もかかり大変な仕組みになってきますので、金額的にも数千円なので、店舗の皆様をお願いしたいと思います。
- ・それと裏返しになるのですが、緊急事態宣言が解除になって、より感染症に強い社会を作るため、マスク会食がなかなか今まで広がってこなかったのですけれど、これを機に、会食を止めてくれというよりもマスク会食をお願いしますということを広げたいと思っています。
- ・4 人以下での会食はこれまでもやってきて効果的であり、昨日尾身会長も 4 人以下と言っていましたので実施していきます。
- ・マスク会食はなかなか面倒だから広がらないというのもあったと思います。その議論を前回の本部会議でしました。
- ・今回、朝野座長の意見も資料にあります。要は紐を持って上げ下げする。このように紐を持って下げて食べて、紐を持って上げてマスク表面はさわらない。前回（の本部会議の議論では）、やらないよりはやった方がいい、（ただし）手をきれいに（することが大事）という意見でした。
- ・つけ外しというのはなかなかやらないので、紐をもって上げ下げするマスク会食は、マスク表面を触らないので、前よりはこのやり方がいいと思うし、やらないよりはやった方が絶対にいいと思うので、このやり方で広げていきたい。
- ・尾身先生がおっしゃっているようなマスクの外し方や、専門家が言う食べるときはずっと黙り、喋るときになってからマスクをつけて話すとか、色んなやり方があると思うのですが、最低でも紐を持って上げ下げするマスク会食を府としてお願いをしていきたい、これは専門家の意見も聞いたやり方なのでそうしていきたいと思います。
- ・やった方がいいので、このタイミングでお願いをしていきたいと思います。



**【危機管理監】**

- ・1点、説明しておりませんでしたので、説明します。
- ・資料2-2の5ページをご覧くださいと思います。
- ・これまでは、法に基づかない、協力依頼といたしまして運動施設、劇場、映画館、集会場、博物館等につきまして、営業時間の短縮について20時までの協力をお願いしてまいりましたが、3月1日以降は緊急事態宣言が解除されますので、こういったお願いは全て取りやめるということをさせていただきます。

**【知事】**

- ・それでいいと思います。
- ・より気を付けないといけない部分というのは、緊急事態宣言が解除された上で、飛沫感染により注意してやっていきたいと思いますので、黙って映画を観るとか、劇場で観るとか、そういう施設への時短の協力要請等については、全て終了にしたいと思います。

以上